

令和3年度

事業報告書

令和 3年 4月 1日から  
令和 4年 3月31日まで

# 「令和3年度 事業報告」目次

## 概 況

〈事業活動〉

### 1 浄化槽による公共用水域の水質保全事業（公益目定事業1）

（1）浄化槽法第7条及び第11条に規定する浄化槽の法定検査事業	3
（2）検査台帳の整備及び浄化槽データの管理に関する事業	7
（3）不適正浄化槽の改善指導と水質改善に関する調査研究事業	8
（4）浄化槽の機能保証制度に関する事業	9
（5）浄化槽の適正な施工及び維持管理に関する啓発及び相談、確認調査等の事業	9
（6）浄化槽に関する講習会・研修会の開催事業	11
（7）浄化槽に関する情報の収集、情報誌の発行事業	13
（8）地域の水環境保全のため浄化槽の普及を図る事業	13
（9）その他地域の水環境保全及び公衆衛生の意識高揚を図るための事業	14
（10）その他の事業	19

### 2 計量証明事業（収益事業1）

（1）計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業	20
（2）分析業務に関する講習会・研修会	20

### 3 受託講習会及び業務効率化支援、並びに各種用紙・物品販売事業（収益事業2）

（1）浄化槽関係技術者の育成と技術向上に関する事業	20
（2）浄化槽関係業者の事業の適正化及び効率化を支援する事業	21
（3）その他前各号に関連する事業	22

### 4 管理部門

（1）法人運営（管理）に関する事業	22
（2）会員関係	25
（3）その他	26

### 5 附属明細書

附属明細書	27
-------	----

## 令和3年度 事業の実施状況

令和3年度の事業計画に基づき実施した事業は次のとおりである。

### 【公益目的事業1】

#### 1 浄化槽による公共用水域の水質保全事業

(1) 浄化槽法第7条及び第11条に規定する浄化槽の法定検査事業 528,970千円

1) 令和3年度は、稼働人員38名体制で、94,238基（年間計画数93,000基に対し101.3%）を実施した。（P.31～P.39）

区 分	令和2年度 検 査 状 況	令和3年度 検 査 状 況	増 減
検査員数	36名	38名	2名
7条検査	2,671基 (24,673千円)	2,594基 (23,921千円)	△77基 (△752千円)
11条検査	90,079基 (497,149千円)	91,644基 (505,049千円)	1,565基 (7,900千円)
合 計	92,750基 (521,822千円)	94,238基 (528,970千円)	1,488基 (7,148千円)

また、検査手数料収入は、528,970千円で前年比7,148千円増となっている。

11条検査については、昨年度比で1,565基の増加となった。綿密な検査実施計画を立て着実に実施したことや、年度の残りわずか3ヶ月であるが検査員2名を増員できたことが検査数の増加につながったと言える。

しかしながら受検率については全体の約4割が未受検となっているため、保守点検・清掃事業者と連携した特別認定管理士や一括契約協議会方式を活用し、適正な維持管理の推進ならびに受検率の向上を図りたい。

#### 2) 法定検査の受検督促

法定検査の受検督促については、令和2年度の未受検者を対象とし、センターから受検指導を行った後に、各県民局長名による行政督促指導を行った。

受検指導では、文書を通知するほか、電話や直接訪問により同一施設への度重なる受検勧奨を積極的に取り組んできたが、前年度比1,108基減となった。

前年度未受検 検査実施数：	令和2年度（8,147基）
	令和3年度（7,039基） -1,108基

※下の①、②の合計数以外に、受検文書通知を送付していない施設（電話勧奨のみ）の受検件数も含んでおります。

① センターからの受検指導文書通知後、電話アポインター（7名）や近隣施設の検査を担当する検査員によって受検指導を行った。その結果は次のとおりである。（P.40）

<センター受検指導>

管 轄	令和2年度		令和3年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	75,732	2,685(3.5%)	74,288	1,880(2.5%)	▲805
南部総合県民局	13,525	377(2.8%)	13,154	833(6.3%)	456
東部保健福祉局(吉野川)	13,416	311(2.3%)	13,746	227(1.7%)	▲84
西部総合県民局	11,866	353(3.0%)	11,674	281(2.4%)	▲72
合 計	114,539	3,726(3.3%)	112,862	3,221(2.9%)	▲505

- ② センターからの受検指導後も未受検の施設については、各県民局長名による督促指導を行った後、再度電話アポインターや近隣施設の検査を担当する検査員によって受検指導を行った。その結果は次の通りである。(P.40)

<行政からの文書指導(設置届出済浄化槽)>

管 轄	令和2年度		令和3年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	46,049	1,690(3.7%)	45,662	1,520(3.3%)	▲170
南部総合県民局	9,315	525(5.5%)	8,731	344(3.9%)	▲181
東部保健福祉局(吉野川)	6,602	199(0.3%)	6,874	289(4.2%)	90
西部総合県民局	6,555	446(5.4%)	6,463	358(5.5%)	▲88
合 計	68,521	2,860(4.2%)	67,730	2,511(3.7%)	▲349

<行政からの文書指導(無届浄化槽)>

管 轄	令和2年度		令和3年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	8,151	364(4.5%)	8,043	316(3.9%)	▲48
南部総合県民局	765	36(4.7%)	727	21(2.9%)	▲15
東部保健福祉局(吉野川)	1,672	64(3.8%)	1,760	65(3.7%)	1
西部総合県民局	1,372	87(6.3%)	1,393	61(4.4%)	▲26
合 計	11,960	551(4.6%)	11,923	463(3.9%)	▲88

- ③ センターからの受検指導通知・各県民局長名による督促指導通知に併せて行った電話アポインターの受検指導の実績は次のとおりである。(P.40)

前年度の受検指導の結果を分析したリストで電話アポイントを行うことにより、電話連絡総数は69,318件の実績となった。分析リストにより在宅時の連絡機会が増加した結果、申込済み率が1.7ポイント増加し、未検査率は1.6ポイント改善された。

<u>電話アポインターによる受検指導</u>	電話連絡総数	69,318件
【内訳】	申込済み	4,277件(6.2%)
	未検査	61,388件(88.5%)
	休止・廃止	3,653件(5.3%)

- ④ 那賀町らくらくあんしん協議会は、設立後12年目を迎え、7月に第11回通常総会を開催し、前年度の実績報告・決算報告を行った。

令和3年度の維持管理一括契約は、保守点検や法定検査の実施時に入会勧奨を行うことにより新規契約が12件（総合計911件）となったが、その一方、老齢化に伴う施設への入所や契約者の死亡などにより解除の件数も増加したため、加入総数はほぼ横ばいとなった。（P.41）

また、協議会では、浄化槽管理士特別認定制度における合併処理浄化槽の適用拡大について検討を進め、令和3年10月には、合併浄化槽も特別認定管理士により法定検査（一次検査）が実施出来るようになった。

その結果、特別認定管理士による法定検査（一次検査）の実施は、単独浄化槽298件、合併浄化槽80件の合計378件となった。

<開催事業>

- (7月5日) 那賀町浄化槽らくらくあんしん協議会 第11回通常総会  
(3月3日) 那賀町浄化槽らくらくあんしん協議会 会議

浄化槽設置数（10人槽以下）：2,032基 維持管理一括契約数：911基（44.8%）

那賀町浄化槽らくらくあんしん協議会



総会(7/5)



会議(3/3)

- ⑤ 神山町きれいな水づくり推進協議会は、8月に第10回通常総会を開催し前年度の実績報告・決算報告を行った。

令和3年度の維持管理一括契約は、保守点検や法定検査の実施時に入会勧奨を行い新規契約が10件（総合計490件）となったが、施設への入所や死亡などにより解除の件数も増加している。（P.42）

また、那賀町と同様に当協議会では、浄化槽管理士特別認定制度における合併処理浄化槽の適用拡大について検討を進め、令和3年10月には、合併浄化槽も特別認定管理士により法定検査（一次検査）が実施出来るようになった。

その結果、特別認定管理士による法定検査（一次検査）の実施は、単独浄化槽179件、合併浄化槽18件の合計197件となった。

<開催事業>

- (8月20日) 神山町きれいな水づくり推進協議会 第10回総会  
(3月3日) 神山町きれいな水づくり推進協議会 会議

浄化槽設置数（10人槽以下）：1, 889基 維持管理一括契約数：490基（25.9%）



神山町きれいな水づくり推進協議会(8/20)

### 3) 浄化槽管理士特別認定制度

認定管理士に対し、1年（優良認定管理士は2年）ごとの更新講習を各地域ごとに開催し、一次検査における精度管理の説明や水質検査機器類のクロスチェックを行った。

- 8月26日 浄化槽管理士特別認定更新講習会（第1回）（南部地区）（受講者 3名）
- 8月27日 浄化槽管理士特別認定更新講習会（第2回）（西部地区）（受講者 9名）
- 8月30日 浄化槽管理士特別認定更新講習会（第3回）（東部地区）（受講者17名）
- 9月27日 浄化槽管理士特別認定更新講習会（第4回）（東部地区）（受講者27名）
- 11月16日 浄化槽管理士特別認定制度新規講習会（第2種認定）（受講者 2名）

行政を主体とした浄化槽管理士特別認定制度審査委員会では、現在までのスクリーニング試験やクロスチェックといった信頼性確保への取り組みに対して行ってきた結果について報告を行い、運用状況面での承認を受けた。

- 12月17日 第16回浄化槽管理士特別認定制度審査委員会
- 3月 9日 第17回浄化槽管理士特別認定制度審査委員会

#### 【認定管理士・指定事業所（令和4年3月31日時点）】

認定管理士 — 1種10名、2種68名

指定事業所 — 27社

#### 【認定管理士による一次検査実績（令和3年度）】

822件（那賀町-378件、神山町-197件、その他-247件）



管理士特別認定更新講習会(11/16)



管理士特別認定制度審査委員会(3/9)

#### 4) 一括契約協議会の推進

市町村単位に設立された一括契約協議会では、海部郡においては関係業者により契約が勧められ、僅かではあるが、実績が出てきた。

実績の無い市町村については、実運用に取り組めるよう、一括契約加入時の事務取扱や推進方法について協議していく。

#### 【設立済市町村】

三好市、海部郡(3町)、美馬市・つるぎ町(合同)、小松島市、勝浦町、上勝町、那賀町、神山町

#### 5) 継続検査制度の推進

平成28年度から制度を開始した、「継続検査申込」であるが、「継続検査申込」の手続きが完了した施設について、センターから返信不要の「訪問予定日通知」を送付し、検査を実施している。

現時点では概ね良好に制度が推移しているが、一部で、転居して転売した施設や、契約者が死去し、使用していない施設の検査が勝手に行われたとの苦情が寄せられるケースも出てきているため、可能な限り設置者と連絡を取り施設の状況を確認するよう対策を講じていきたい。

令和4年3月末時点での「継続検査申込」の申込数は、26,502件にのぼっており、11条検査推進に効果を上げている。

#### 6) 「ブロワ交換費補助制度」事業の創設

センターでは、令和3年下半期より浄化槽の適正な維持管理を実施する施設に対し、ブロワの交換費用の一部を補助する制度を導入し、53件の補助申請を受け付けた(最大1万円補助)。

#### <ブロワ交換費補助実績> 令和4年3月末までの受付

○申請件数 : 53件

(内訳) 補助対象適用(令和3年度助成済) : 36件、

〃 (令和4年度助成予定) : 15件

補助対象外(要件満たず不適用) : 2件

### (2) 検査台帳の整備及び浄化槽データの管理に関する事業

1) 令和3年度は4支所で新設浄化槽2,557基(うち22基は取下げ届提出)の設置届出書及び計画書を受け付け、昨年度と比較し、19基減となった。また、検査実施後の指導による無届浄化槽の届出も106基あった。

「浄化槽維持管理標準契約書」(以下「標準契約書」という)については、申請に併せて2,301基分(前年度比6基増)の契約書を受け付けた。

8,200千円(徳島県委託事業)

その他の浄化槽に関する各種申請受付状況はP.43~P.45のとおりである。

2)「浄化槽台帳の整備」を目的に、郵便物が届かない又は連絡がつかない対象施設の浄化槽に対して現地調査を行い、データ整備を行った。併せて、市町村からの提供資料(下水道台帳)を突合し、廃止届出書の提出が無い浄化槽の確認も行った。

4, 500千円(浄化槽台帳補完調査事業)

現地調査対象件数：2, 818基

下水道台帳により確認した廃止浄化槽：236件

### (3) 不適正浄化槽の改善指導と水質改善に関する調査研究事業

1) 不適正浄化槽については、まず、検査結果書により改善を促し、さらに、改善報告のない浄化槽に対しては、関係行政機関(県水・環境課、県民局(福祉局)、土木、市町村)から文書による改善指導を行っている。令和3年度の関係行政機関からの改善指導はP.46のとおりである。

不適正と判定された浄化槽14, 827基(指導項目総数15, 336項目)に対し、改善指導を行った結果、令和4年3月末までに、3, 274項目の改善報告を受け付けた。

関係行政機関別の内訳は次のとおりである。

指導する関係行政機関	指導対象	主な指摘内容	指導件数	改善報告数	改善確認数
県水・環境課	保守点検業者	保守点検不備	7,139件	2,396(33.6%)	-
保健福祉局・県民局	浄化槽管理者	無管理等	7,029件	696(9.9%)	-
土木事務所・特定行政庁	浄化槽管理者	破損等	491件	121(24.6%)	89(18.1%)
市町村	清掃業者	清掃不備	677件	61(9.0%)	-
合 計			15,336件	3,274(21.3%)	

※破損等(土木事務所指導分)の改善報告については、再度現場にて改善確認を行っている。

改善報告率は年度末分途中のため低い数値であるが、最終的には25%程度の数値となると思われる。

2) 浄化槽技術検討委員会では、水質改善に関する調査研究対象として、不適正浄化槽の中から水質が悪化している浄化槽で、且つ原因が不明なものを選び、保守点検業者等と連携を図りつつ二次検査の実施を行っている。

実施件数及び結果は下記のとおりであり、結果については設置者・保守点検業者に連絡済である。

<浄化槽技術検討委員会の開催>

4/20、6/29、8/19、10/21、12/21、2/21

水質悪化原因	件数	二次検査内容
生物膜の生成不良による	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
ブロワの送気配管取付不良による	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
流入負荷量の偏りによる	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
循環装置の調整不良による	4件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
清掃時期の到達による	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
合 計	8件	

3) (公財)日本環境整備教育センターからの委託により、調査対象として選定された浄化槽が、全国浄化槽推進市町村協議会の浄化槽設置整備事業における国庫補助指針に適合した浄化槽かどうかの現地調査を行った。

198千円(実地調査事業)



#### (4) 浄化槽の機能保証制度に関する事業

2, 525千円(機能保証登録料)

令和3年度は全浄連が行う機能保証制度の登録申請書970基(取下除く)を受付し、全浄連及び管轄の市町村には、保証制度登録者受付台帳を送付した。また、設置者には、機能保証登録証とともに適正な維持管理のパンフレット及び「標準契約書」の控えを送付し、使用開始後の適正な維持管理についての周知を図った。(P.47)

	令和2年度		令和3年度		前年度対比	
	申請件数	取下げ	申請件数	取下げ	申請件数	取下げ
書類申請	856基	17基	815基	9基	▲41基	▲8基
電子申請	145基	3基	186基	22基	41基	19基
合計	1,001基	20基	1,001基	31基	0基	11基

なお、令和3年度は機能保証制度利用申請が1件あった。

#### 【機能保証の申立】・・・1件

保証申立日	地域	状況	結果
令和3年 9月1日	石井町 (H29.5使用開始)	保守点検実施時に消毒槽へ担体が流出していることを確認。	機能保証制度地方審査委員会で「原因者が特定できない瑕疵が発生した場合」として保証の対象とすることを決定。

#### (5) 浄化槽の適正な施工及び維持管理に関する啓発及び相談、確認調査等の事業

1) 浄化槽に関する普及啓発事業として下記事業を行った。

<浄化槽月間 啓発事業>

県主催による浄化槽月間街頭啓発活動に参加し、パンフレットの配布を行った。

- 10月20日 ショッピングセンター アワーズ(阿波市)
- 10月22日 フジグラン北島(北島町)
- 10月25日 ショッピングプラザ アピカ(阿南市)
- 10月26日 マルナカ三加茂店(東みよし町)、フレスポ阿波池田(三好市)

<浄化槽維持管理啓発>

県主催による浄化槽維持管理啓発活動に参加し、パンフレットの配布を行った。

3月17日 マルナカ脇町店(美馬市)

<その他>

NPO法人正法寺川を考える会の活動に参加した。

10月20日 体験型ふるさとの川環境観察学習会(藍住町正法寺川)

鳴門市新池川を守る会の活動に参加した。

11月26日 鳴門市新池川を守る会研修会(鳴門市撫養町)



ショッピングセンター アワーズ (10/20)



フジグラン北島 (10/22)



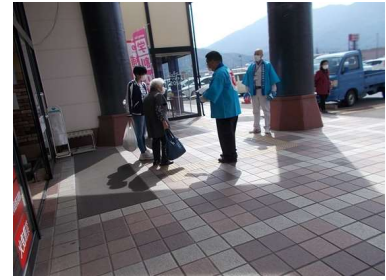
ショッピングプラザアピカ (10/25)



マルカ三加茂店 (10/26)



レスポ 阿波池田 (10/26)



マルカ脇町店 (3/17)



体験型ふるさとの川環境観察学習会 (10/20)

- ① 4支所窓口において、来所する設置者や業者を対象に専門的な知識を持っている職員が浄化槽の適正な施工や維持管理等に関する相談に随時対応した。
- ② インターネットによるホームページを活用し、浄化槽のしくみや正しい知識に関する情報を適時に掲載し、浄化槽の適正な施工及び維持管理の普及啓発に努めた。
- ③ 県の委託事業である、浄化槽関係書類の受付業務については、届出された設置届出書等の内容を審査し、浄化槽設置者データを登録、設置者には受理通知書を送付した。
- ④ 設置届けに添付が義務づけられた「標準契約書」については、50人槽以下の浄化槽全ての添付を確認し、維持管理を行う業者には契約手続き完了の通知を行った。
- ⑤ 申請のあった浄化槽管理者に対し、7条及び11条検査の申込書、設置届出書（又は計画書）及び、標準契約書（50人槽以下）もしくは検査誓約書・契約書（51人槽以上）の控えや検査料払込証明書、設置情報確認書などを発行又は送付した。
- ⑥ 令和3年度の委託事業である下記市町の設置確認検査及び事前審査は次のとおりである。

(1,078千円)

市 町 村	事業内容	令和2年度	令和3年度	前年度対比
徳島市	設置事前検査業務	71基	83基	12基
	設置確認検査業務	56基	97基	41基
東みよし町	中間検査業務	51基	50基	▲1基
	完了検査業務	48基	54基	6基

## (6) 浄化槽に関する講習会・研修会の開催事業

①新しく浄化槽の設置届出手続きをした方を対象に浄化槽教室を開催し、受講者には受講証明書を発行した。また、市町村担当課には、受講者台帳を送付した。(P.48)

上半期は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言を受けて、8月から10月の7会場の開催が中止となったが、前年度に導入したWEB受講を活用し、設置者の受講機会の確保に努めた。受講者数は、会場(22会場)184名、WEB教室1,309名の結果となった。今後も継続してWEB教室の効果を検証していきたい。

	令和2年度	令和3年度	差 異
対 象 数	2,133基	2,146基	13基
開 催 回 数	28回	22回	▲6回
受 講 者 数 (内訳)	1,668名(78.2%)	1,493名(69.6%)	▲175名
会場受講	265名(12.4%)	184名(8.6%)	▲81名
WEB受講	1,403名(65.8%)	1,309名(61.0%)	▲94名

※対象者数：令和3年4月～令和4年1月末に設置申請が提出された件数です。  
令和3年2月～令和3年3月末に設置申請されたうちの教室未受講者

浄化槽教室



吉野川会場(5/18)



徳島会場(6/30)



WEB教室 オープニング画面

②年度を区切りとして、各市町村の浄化槽担当者が交代するため、行政担当者を対象にセンター主催で「浄化槽担当者説明会」を実施し、浄化槽に関する各種情報を提供した。

- 日 程 : 令和3年7月2日  
開催場所 : 徳島県立総合福祉センター 401会議室  
出席人数 : 市町村行政関係者30名  
内 容 : ・浄化槽の基礎知識について  
・令和2年度法定検査実施状況について  
・7条・11条検査の結果について



市町村浄化槽担当者説明会(7/2)

③「徳島県浄化槽保守点検業者登録条例」では、浄化槽保守点検業に登録する浄化槽管理士に対し研修会の受講が義務付けられたが、研修会の実施については当センターが県から指定を受けたため下記日程で浄化槽管理士研修を実施した。 **1, 128千円**

- 開催日程・会場 : 第1回 8月26日(55名受講) 県郷土文化会館あわぎんホール  
第2回 10月8日(31名受講) 徳島県立西部防災館  
第3回 10月21日(13名受講) 阿南文化会館夢ホール  
第4回 11月11日(89名受講) 県郷土文化会館あわぎんホール  
第5回 11月17日(67名受講) 県郷土文化会館あわぎんホール  
第6回 2月10日(27名受講) 県郷土文化会館あわぎんホール

内 容 : 【浄化槽管理士の研修プログラム】

<全国共通枠>

- I 浄化槽行政の動向
- II 浄化槽の構造と機能
- III 浄化槽の保守点検と清掃

講師 : (公財) 日本環境整備教育センター 講師

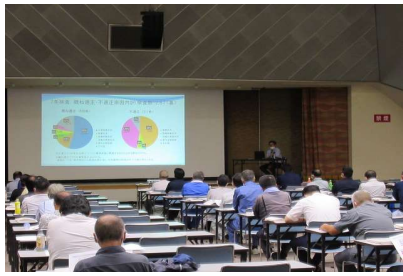
<地方枠>

IV 地域における浄化槽情報

- (1) 浄化槽に関する施策転換と普及状況について

講師 : 徳島県県土整備部水・環境課 講師

浄化槽管理士研修会（全6回）



(8/26)



(10/8)

(7) 浄化槽に関する情報の収集、情報誌の発行事業

- 1) 各市町村が行う補助事業の補助額や必要書類についての調査を行い、その情報を取り纏めて一覧表を作成し、関係者に配布した。
- 2) 浄化槽に関する最新情報や浄化槽に関する各種データ等を載せた月刊機関誌「みどり」を発行し、各行政機関等へ配布するとともに、当法人の4支所にも備え置き、一般の方にも提供、同時にインターネットのホームページにも掲載した。
- 3) 浄化槽に関する最新情報を提供するため、全浄連が作成発行している、「全浄連ニュース」を各関係機関に無償配布した。

(8) 地域の水環境保全のため浄化槽の普及を図る事業

- 1) 徳島市の委託事業である合併浄化槽転換推進事業では、検査員が単独浄化槽の設置者に対し、合併浄化槽のパンフレットを配布又は利点を説明し、合併浄化槽への転換を勧めた。この転換推進は、毎年ほぼ同じ設置者に対し啓発しているのが現状で、効果の低下が懸念されることから市と協議を行い、今年度はパンフレットの内容を変更して推進している。

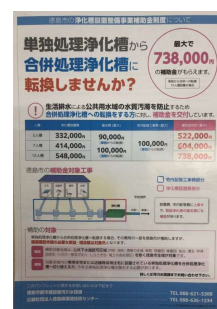
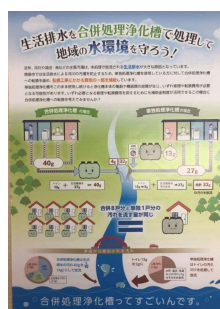
363千円（徳島市浄化槽転換促進事業）

転換推進啓発内容	令和2年度	令和3年度	前年度対比
パンフレット配布業務	5,312件	4,760基	▲552基
合併への転換説明業務	1,531件	1,521基	▲10基
啓発数計	6,843件	6,281基	▲562基

<参考 徳島市設置事前検査における設置・転換状況>

	～26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	累計
設置	5,941	577	637	563	574	0	0	0	8,292
転換	738	68	51	49	44	45	71	83	1,149

転換啓発用パンフレット  
（徳島市）



- 2) センターが受付窓口として行っている二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(省エネ型大型浄化槽導入推進事業)交付事業について、令和3年度は15件の申請を受け付けた。

<申請受付状況>

- (TYPE1) : 51人槽以上の既設合併処理浄化槽に付帯する機械設備等の改修・導入事業  
受付件数 15件  
補助金申請額 18,524,000円
- (TYPE2) : 旧構造基準及び新構造基準の浄化槽(ブロワを使用するものに限る)のうち60人槽以上の合併処理浄化槽に係る本体交換事業  
受付件数 0件

- 3) 「とくしま浄化槽連絡協議会」の開催

10月に開催した「とくしま浄化槽連絡協議会」では、7つのテーマ(①新たな支援策、②普及・転換の方策、③人槽算定、④台帳整備、⑤適正な維持管理、⑥災害時などの対応、⑦市町村設置型浄化槽整備の推進)にかかる実績・課題報告が行われた。

報告の中では、令和3年下期からセンターが導入した「ブロワ交換費補助制度」についても紹介された。

とくしま浄化槽連絡協議会とは)

浄化槽法改正に伴い、令和2年8月に県水・環境課主導のもと設立された協議会。県・市町村担当者のほか、工事業者、浄化槽清掃業者、浄化槽清保守点検業者、指定検査機関、メーカー、市町村設置型浄化槽整備特別目的会社等で構成され、官民協働で地域における浄化槽の様々な課題の解決を進めていく。

10月29日 令和3年度 第1回とくしま浄化槽連絡協議会

## (9) その他地域の水環境保全及び公衆衛生の意識高揚を図るための事業

- ① 「みなみから届ける環づくり会議」への参加

企業、民間団体、研究機関、行政などの15団体と3名の研究者が、県南で環境課題の解決を目標に活動している産学官民の協働体である。当センター担当者は幹事として参画し、各種イベントの開催について協議を行ってきた。

### 【会議への参加】

- 6月16日 みなみから届ける環づくり会議総会  
8月27日 みなみから届ける環づくり会議 第2回水質WG会議 (WEB会議)  
3月4日 みなみから届ける環づくり会議 第3回水質WG会議 (WEB会議)  
3月18日 みなみから届ける環づくり会議 第2回臨時総会 (書面決議)

- ② 学校教育において、環境学習に熱心に取り組んでいる学校を対象に、出前講座を行い、科学実験などを通して水の大切さを学んでもらう活動を行った。

また、学校以外に、各地域で取り組む環境保全活動において、講師として招かれ、水環境保全や浄化槽についての講演を行った。

(小学校ー22回、地域住民その他ー2回 計24回)

【環境学習への取り組み】

6月23日	徳島市立川内北小学校	6月24日	板野町立板野南小学校
6月24日	板野町立板野東小学校	6月25日	海陽町立海部小学校
6月28日	小松島市立南小松島小学校	6月29日	美馬市立江原南小学校
6月30日	徳島市立助任小学校	6月30日	徳島市立上八万小学校
7月1日	藍住町立藍住西小学校	7月2日	上板町立東光小学校
7月7日	阿南市立羽ノ浦小学校	7月9日	三好市立池田小学校
7月14日	美馬市立脇町小学校	7月15日	美馬市立岩倉小学校
7月19日	阿南市立吉井小学校	9月2日	三好市立三縄小学校
9月10日	三好市立東祖谷小学校	9月15日	阿南市立新野小学校
9月16日	徳島市立加茂名小学校	10月1日	小松島市立小松島小学校
10月4日	阿南市立見能林小学校	10月12日	鳴門市立黒崎小学校
11月22日	藍住町立藍住北小学校	11月26日	鳴門市新池川を守る会
3月25日	キッズネクスト (WEB)		

※感染症予防のため中止 (3校)

9月3日	吉野川市立西麻植小学校	9月8日	吉野川市高越小学校
9月27日	阿南市立岩脇小学校		



川内北小学校 (6/23)



板野南小学校 (6/24)



板野東小学校 (6/24)



海部小学校 (6/25)



南小松島小学校 (6/28)



江原南小学校 (6/29)



助任小学校 (6/30)



上八万小学校 (6/30)



藍住西小学校 (7/1)



東光小学校 (7/2)



羽ノ浦小学校 (7/7)



池田小学校 (7/9)



脇町小学校 (7/14)



岩倉小学校 (7/15)



吉井小学校 (7/19)



三縄小学校 (9/2)



東祖谷小学校 (9/10)



新野小学校 (9/15)



加茂名小学校 (9/16)



小松島小学校 (10/1)



見能林小学校 (10/4)



黒崎小学校 (10/12)



藍住北小学校 (11/22)



鳴門市新池川を守る会 (11/26)



キッズネクスト WEB 講習 (3/25)



③ 「浄化槽の日」ポスターコンクールの開催

未来を担うこどもたちに、水の大切さを知ってもらうため夏休み課題のポスターを募集した。今年度は77作品の応募があり、9月30日に優秀作品を選考し、11月24日には徳島県知事による表彰状の授与式を行った。

尚、優秀作品については、県庁および東部保健福祉局などで一般公開したほか、令和4年度のカレンダーに活用し、小中学校に配布した。

7月～9月	県内小中学校へ作品の募集
9月13日	応募締切（77作品）
9月30日	応募作品審査会（応募77点 最優秀-2点、優秀-6点、佳作-18点）
11月24日	徳島グランヴィリオホテルにて優秀作品表彰式
12月～3月	徳島県庁、東部保健福祉局（徳島保健所）、徳島県総合教育センターにて優秀作品の展示

令和3年度「浄化槽の日」ポスターコンクール



(小学校の部 最優秀作品) (中学校の部 最優秀作品) 表彰式で知事と記念撮影

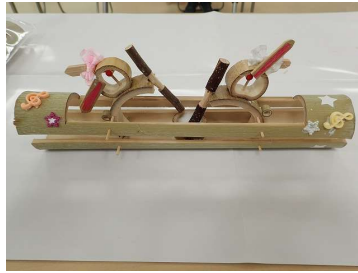
④ 「みずすまし隊」による活動

県内のこどもたちに「水の大切さ」や「環境を守っていくこと」の重要性を知ってもらうため、センターの若手職員があすたむらんど「水の日イベント」に参加した。

- 6月 5日 あすたむらんど「環境月間特別エコ工作」  
『プラごみ削減』をテーマとし、使い捨てのプラスチック製コップを小物入れにリメイクした。
- 6月26日 エコみらい6月講座「竹のからくりおもちゃを作ろう」  
徳島市の竹林整備の際に伐採された竹を使って「ウサギの餅つき」の竹細工製作を行った。
- 8月 1日 あすたむらんど「水の日イベント～竹のてっぽうで花に水やりを～」  
手作りの竹の水鉄砲やペットボトルじょうろを用いて、ため池の水を花壇に散水し、水の循環について学んでもらった。
- 11月 6～7日 あすたむらんど「サイエンスフェア2021 おもしろ博士の実験室」  
「プラスチックゴミを使ってアクセサリを作ろう！」と題して、UV レジンを使った工作体験を行った。



環境特別月間エコ工作(6/5)



エコみらい6月講座(6/26)



水の日イベント(8/1)



サイエンスフェア2021(11/6～11/7)

⑤ 清掃活動

徳島市パークアドプト清掃活動に参加し、津田海岸町の公園で除草や清掃を実施し、地域の美しい憩いの場を確保した。

活動実施日：5月28日、9月28日、12月14日、3月25日



パークアドプト清掃活動(5/28)



パークアドプト清掃活動(9/28)

⑥ 「リフレッシュ瀬戸内」への活動参加

国、県、市町村等関係機関で構成する瀬戸内・海路ネットワーク推進協議会の事業であり、センターも積極的に協力している。

5月26日 金磯海岸水質検査の実施  
センターの協賛事業として横須金磯海岸付近の水質検査を実施し、分析結果の報告を行った。(清掃ボランティア活動は中止となった。)

⑦ CSR活動報告について

ホームページ上に上記活動をCSR活動報告として公開した。

URL : <https://www.tokushima-env.jp/contents/csr/index.html>

(10) その他の事業

①職員の技術向上を徹底するため、積極的に研修会・講習会に参加し、能力・知識の向上に努めた。

4月15日	安全衛生 保健師による保健指導
6月3日、11月18日	検査員基礎知識試験(検査員)
6月17日、1月19日	低圧電気取扱者安全衛生特別教育講習会
9月13日～9月20日	浄化槽検査員講習(3名)
9月21日、12月1日	正(副)安全運転管理者講習
11月4日	交通安全運転講習
1月14日、2月8日	フルハーネス型安全帯使用作業特別教育
2月18日	徳島法人会 決算研修会

センターでは、プライバシーマーク認定により、作成した個人情報保護マネジメントシステムに基づいた体制で業務を行い、月1回のEラーニングによる社員教育の実施等によって、その精度を上げている。

2月24日 プライバシーマーク内部監査



また、同様に認証を受けているエコアクション21についてもマネジメントシステムを遵守しながら、廃棄物排出量や節電等、環境への取り組みを行っている。

7月26日 エコアクション21 交通安全講習会  
(講師: あいおいニッセイ同和損保)



②開催・出席の主な会議等

<全浄連四国地区・検査機関四国地区協議会>

4月22日 全浄連四国地区・検査機関四国地区協議会総会 中止  
※書面決議にて実施

9月1日～2日  
検査機関四国地区協議会検査員研修会(徳島) 中止

## 【収益事業1】

### 2 計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業

(1) 計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業 36,722千円(計量証明手数料)

①濃度計量証明事業として特定事業場排水の分析を主に水質分析を実施した。

令和3年度の証明件数は2,885件で売上げは36,722千円であった。

(前年度比 売上額:2,546千円減) (P.49)

(2) 分析業務に関する講習会・研修会・会議等

<BOD測定機器導入に伴う作業手順の視察>

7月28日 香川県浄化槽協会へBOD測定機器の視察

<講習会・研修会>

4月20日～23日 水道水質・環境分析ウェビナー (WEB講習会)

12月7日 環境計量証明事業者クロスチェック事業実務担当者打合せ会

1月27日 環境計量証明事業者クロスチェック事業結果検討会

<内部研修>

3月25日 計量証明事業規定10.3に基づく研修

## 【収益事業2】

### 3 受託講習会及び業務効率化支援、並びに各種用紙・物品販売事業

(1) 浄化槽関係技術者の育成と技術向上に関する事業

1) 講習会・研修会の開催

①浄化槽管理士講習の開催

(公財)日本環境整備教育センターからの委託により、下記スケジュールにて浄化槽管理士講習を実施した。なお、当初予定していた浄化槽技術管理者講習については、感染者急増のため、急遽開催を中止とした。

9月5日～9月17日 浄化槽管理士講習  
(受講者56名 修了者47名)

2月16日～2月18日 浄化槽技術管理者講習 ※中止



浄化槽管理士講習(9/5～9/17)

②浄化槽設備士特別認定更新講習の開催

浄化槽設備士の技術の向上を目的とした浄化槽設備士特別認定制度では、5年目の更新を対象とした更新講習会を開催し、10名の特別認定設備士が受講した。

10月5日	浄化槽設備士特別認定更新講習会（西部会場）	2名受講
10月13日	浄化槽設備士特別認定更新講習会（南部会場）	3名受講
10月20日	浄化槽設備士特別認定更新講習会（徳島会場）	5名受講



(2) 浄化槽関係業者の事業の適正化及び効率化を支援する事業

1) 昨年度に引き続き保証登録申請の電子申請を行った。

保証登録申請書の電子申請によって、浄化槽工事業者に対する申請から登録証明書発行までの事務の効率化により、期間が短縮された。

2) 令和3年度のプレキャストコンクリート底板（PC底板）の売上は8,671千円であった。（昨年度比 ▲883千円）

また、販売する底板の品質を十分確保するため、定期的に製造工場で見学を行っている。  
**8,671千円**

PC底板製品検査 5月13日、7月29日、9月16日、11月18日、1月14日  
3月29日

底板等種類	販売数量	売上金額
5人槽（1枚もの）	349枚	5,405千円
5人槽（2分割）	2枚	44千円
7人槽（1枚もの）	139枚	2,841千円
7人槽（2分割）	4枚	88千円
ブロワ台	131台	211千円
アイボルト	12本	19千円

### (3) その他前各号に関連する事業

各種用紙及び物品等の販売事業

区分	品名	数量	金額
各種用紙 書籍販売	浄化槽設置届出書・計画書	2,722 部	554 千円
	標準契約書	2,449 部	489 千円
	浄化槽変更計画書・変更届出書	179 部	35 千円
	標準保守点検記録票	2,122 部	1,398 千円
	標準清掃記録票	384 部	220 千円
	構造審査申請書	2 部	2 千円
	工事業・特例工事業申請書	1 部	0.5 千円
	保守点検業登録申請書	35 部	17 千円
	浄化槽処理対象人員・汚水算定要領	10 部	10 千円
	その他	6 部	1 千円
機器販売	鍵付万能フック (30cm)	753 本	1,844 千円
	鍵付万能フック (44cm)	316 本	1,115 千円
	その他	—	250 千円

## 【その他の事業】

### 4 管理部門 (法人)

#### (1) 法人運営に関する事業

##### 1) 監査・総会の開催

###### 【会計・業務監査】

4月27日

令和2年度の会計監査・業務監査を行った。

10月28日

令和3年度上半期の会計監査・業務監査を行った。

###### 【定時社員総会】

5月25日

第11回定時社員総会を開催し、令和2年度の事業報告・決算報告並びに、理事（1名）の欠員に伴う補充選任、定款の一部変更を行った。

##### 2) 常任理事会・理事会の開催

センターの運営にかかる議題をもとに常任理事会・理事会を開催した。

・常任理事会（12回）、理事会（11回）



会計及び業務監査(4/27)



第11回定時社員総会(5/25)



第1回理事会 (5/07)



第11回理事会 (3/28)

### 3) センター地区報告会・所属部会の開催

#### 【地区報告会】

##### ①第1回センター地区報告会

センター旧支部（8地区）単位で令和2年度のセンター事業活動についての報告会を開催し、事業報告とともに地域における課題や要望等についての意見交換を行った。

徳島地区(R3/4/13)、鳴門地区(R3/4/19)、阿南地区(R3/4/21)、阿北地区(R3/4/23)  
小松島地区(R3/4/26)、三好地区(R3/5/12)、海部地区(R3/5/13)、美馬地区(R3/5/17)

#### 【報告内容】

- 1.災害発生時の協力体制について
- 2.とくしま浄化槽連絡協議会の設立について
- 3.会員従業員の資格取得にかかる講習会の開催について
- 4.センターにおける機器・設備等の購入について
- 5.メーカー部会選出理事の欠員による候補者選出について

##### ②第2回センター地区報告会

令和3年度におけるセンター事業活動等の地区報告会は、新型コロナウイルス感染症の急増により急遽開催を中止し、郵送により報告資料の送付を行った。

中止した地区報告会  
徳島地区(R4/3/1)、鳴門地区(R4/3/2)、小松島地区(R4/3/7)、阿南地区(R4/3/11)、  
阿北地区(R4/3/14)、美馬地区(R4/3/15)、三好地区(R4/3/17)、海部地区(R4/3/24)

#### 【報告内容】

- 1.令和3年度センター事業・理事会運営の報告について
- 2.とくしま浄化槽連絡協議会への取り組みについて

#### 【センター各種部会】

各業界の課題解決を目的として、センター所属部会を開催した。

##### ①清掃部会

###### ○第1回協議内容（9月9日開催）

- (1)ブロワ交換費補助制度の導入について
- (2)浄化槽維持管理標準契約書マニュアルの改正について
- (3)浄化槽台帳整備にかかる清掃業務の電子化について
- (4)とくしま浄化槽連絡協議会の検討内容について

○第2回協議内容（12月15日開催）

- (1) 浄化槽維持管理標準契約書マニュアルの改正案について
- (2) とくしま浄化槽連絡協議会の清掃部会にかかる議題について

②保守点検部会

○第1回協議内容（9月9日開催）

- (1) ブロワ交換費補助制度の導入について
- (2) 浄化槽維持管理標準契約書マニュアルの改正について
- (3) 保守点検登録条例に則した実務について
- (4) 浄化槽台帳整備にかかる保守点検業務の電子化について
- (5) とくしま浄化槽連絡協議会の検討内容について

○第2回協議内容（12月15日開催）

- (1) 浄化槽維持管理標準契約書マニュアルの改正案について
- (2) 浄化槽保守点検登録条例に則した実務について
- (3) とくしま浄化槽連絡協議会の保守点検部会にかかる議題について

③施工部会

○第1回協議内容（9月13日開催）

- (1) 施工部会における過去の協議事項について
- (2) ブロワ交換費補助制度の導入について
- (3) 浄化槽維持管理標準契約マニュアルの改訂について
- (4) とくしま浄化槽連絡協議会の検討内容について

○第2回協議内容（12月13日開催）

- (1) 中間検査制度の要望について
- (2) 浄化槽の適正工事を推進するための施策について
- (3) 浄化槽設置届出(計画)書等の電子申請導入について
- (4) とくしま浄化槽連絡協議会の施工部会にかかる議題について

④メーカー部会

○第1回協議内容（12月16日開催）

- (1) メーカー部会における協議事項について
- (2) 浄化槽設置届出(計画)書の電子申請導入について
- (3) とくしま浄化槽連絡協議会のメーカー部会に係る議題について
- (4) 浄化槽維持管理標準契約マニュアルの改訂案について
- (5) コンパクト型浄化槽の保守点検回数について



清掃部会会議(9/9)



保守点検部会会議(9/9)





施工部会会議 (9/13)



メーカー部会会議 (12/16)

#### 4) 全浄連関係会議

- 4月22日 全浄連事務局長会議のテレビ会議に出席した。
- 5月11日 全浄連第1回正副会長会のテレビ会議に出席した。
- 5月26日 全浄連第37回理事会のテレビ会議に出席した。
- 6月25日 全浄連第2回正副会長会のテレビ会議に出席した。
- 7月7日 全浄連第38回理事会のテレビ会議に出席した。
- 8月19日 全浄連第3回正副会長会議のテレビ会議に出席した。
- 8月24日 全浄連第39回緊急理事会のテレビ会議に出席し、令和3年度要望案について協議した。
- 11月25日 全浄連第4回正副会長会、浄化槽推進議員連盟総会に出席した。
- 2月17日 全浄連第1回検査委員会のテレビ会議に出席した。
- 3月10日 全浄連第5回正副会長会議のテレビ会議に出席した。
- 3月25日 全浄連第41回理事会のテレビ会議に出席した。

## (2) 会員関係

令和3年度において、5社の会員が退会した。

<会員の入・退会状況>

令和4年3月31日現在

地区	会員数	入会会員	退会会員	差引会員数	備考
徳島	60社	0社	1社	59社	
鳴門	10社	0社	1社	9社	
小松島	11社	0社	3社	8社	
阿南	17社	0社	0社	17社	
海部	7社	0社	0社	7社	
阿北	8社	0社	0社	8社	
美馬	11社	0社	0社	11社	
三好	23社	0社	0社	23社	
メーカー	12社	0社	0社	12社	
合計	159社	0社	5社	154社	

<会員の入・退会状況>

地区	会員名	代表者	退会日	部会
小松島	(有)三共クリーンメンテナンス	吉本 忍	R03. 9.30	保守点検
小松島	(有)勝水工業	尾花 幸子	R03. 11.11	施工
徳島	佐藤総合設備(株)	佐藤 加津美	R03. 12.23	施工
鳴門	(有)大西水道工業	大西 敏文	R04. 2.23	施工
小松島	ユアサ設備工業株式会社	湯浅 武彦	R04. 3.31	施工

<会員内訳>

地 区		施 工	保守点検	清 掃	合 計
東 部	徳 島	27社(1)	23社(1)	12社(1)	62社(3)
	鳴 門	7社	2社	0社	9社
	小 松 島	5社	0社	3社	8社
	阿 北	3社	0社	5社	8社
南 部	阿 南	14社	3社(2)	2社	19社(2)
	海 部	3社	3社	1社	7社
西 部	美 馬	8社	1社	2社	11社
	三 好	17社	5社	1社	23社
メーカー					12社
合 計		84社(1)	37社(3)	26社(1)	159社(5)

※複数部会所属会員はそれぞれ部会毎に1社として計算している。  
カッコ内の数字は複数部会に所属する会員数

(3) その他

1) 許認可に関する事項

- 1) 徳島県告示第255号浄化槽法に基づく法定検査機関の指定 (昭和62年3月27日)
- 2) 計量証明事業登録 (平成12年12月14日 第74号)
- 3) 建築物飲料水水質検査事業 (平成26年2月17日 徳島県東保26水 第1号)

2) 変更認定申請書

役員変更・定款に伴う変更届出書を提出 (令和3年6月7日)

3) 役員等に関する事項

(令和4年3月31日現在)

役 職	氏 名	勤務体系	所 属 および 役 職
会 長	田村 茂人	非常勤	豊栄設備工業(株) 代表取締役
副 会 長	加統 叙男	非常勤	(株)ハウステック 所長
〃	井内 孝明	非常勤	(有)井内開発 代表取締役
専務理事	全保 恭章	常 勤	(公社)徳島県環境技術センター 事務局長
常任理事	森 玄德	非常勤	(有)森清浄社 代表取締役
理 事	高尾 武司	非常勤	(株)ユニパック 代表取締役
〃	高橋 良太	非常勤	ニッコー (株) 高松営業所 所長
〃	岩本 英司	非常勤	(株)岩本総業 代表取締役
〃	林 哲郎	非常勤	毎日衛生(有) 代表取締役
〃	三好 一生	常 勤	(公社)徳島県環境技術センター 事務局次長
監 事	長地 孝夫	非常勤	公認会計士 長地孝夫事務所 公認会計士
〃	志摩 恭臣	非常勤	朝田啓祐法律事務所 弁護士

4) 職員に関する事項

(令和4年3月31日現在)

職 員 数	入 社	退 社	平均年齢	平均勤続年数
男性	54名	5名	44.3才	14.9年
女性	23名	0名	43.5才	14.0年
合計又は平均	77名	5名	44.0才	14.6年

## 5) 法令遵守に関する事項

### ①交通事故

交通事故の発生を抑止するための措置として、デジタルタコグラフ、ドライブレコーダーを導入している。大きな事故の発生は無いが、未だ不注意による事故を根絶できていない。そこで、一定以上の事故を起こした職員には教習所での安全運転講習の受講を義務づけ、該当者3名が受講した。

1 1月4日 交通安全運転講習（千松自動車教習所）

事 故 内 容		R2年度	R3年度	前年対比
物損事故	任意保険対象外事故	2件	0件	▲2
	任意保険適用事故	2件	3件	+1
人 身 事 故		0件	0件	0
合 計		4件	3件	▲1

### ②個人情報保護

個人情報の不適切な管理を防ぐため、個人情報保護マネジメントシステムに基づき業務を行っている。

- ・個人情報保護に関する事故  
なし

### ③労務管理上の事故

安全衛生委員会を毎月開催し、労務上の事故防止や職員の健康管理について協議し職員周知・研修等を行った。

- ・労災申請件数（1件：通勤時交通事故）  
（前年度： 2件）

## 5 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。